

若手グローバル研究リーダー育成プログラム 実施内容

＜目標＞ 国際的に活躍し、将来リーダーとして研究チームを指導し、研究を遂行する人材の育成

取組内容	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目以降
調整費の取組		業績評価 ↓	業績評価 中間評価 ↓	業績評価 ↓	最終評価(※) ↓	最終評価(※) ↓
若手研究者の育成	国際公募・選定 ▲ 人材システム 改革特区の設置	＜支援＞ ・研究環境(資金、スペース) ・サポート体制(メンター・アドバイザー、若手研究者支援室等) 等			公開シンポジウムの開催	・再審査制度 ・サバティカル制度
自主的取組				中間評価を踏まえた制度面・運用面の改善のためのインプット		
人事制度の検討		静大テニュア・トラック制度の検討		静大テニュア・トラック制度の一部拠点での試行		静大テニュア・トラック制度の全学への順次導入
若手研究者新規採用人数	重点研究領域(光・電子・情報・生命・環境)を中心に採用10人(調整費)				学長裁量ポストを活用しての採用数人(自主経費)	

(※)教員として採用されなかった者には、猶予期間中(最長2年)特任教員として採用し、転進を支援